

- 問1 宮崎県の農業統計において、2020年の品目別生産量で全国1位となっている作物はどれですか。この作物は宮崎平野を中心に盛んに栽培されています。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. きゅうり                      2. さつまいも                      3. てんさい                      4. ねぎ
- 問2 鹿児島県に広く分布する「シラス台地」の土壌の性質として、現地の農業に最も大きな影響を与えている特徴はどれですか。 (2024年 山形公立入試 類似)
1. 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくい                      2. 川が運んだ土砂でできており、水を通しにくい                      3. 粘土質で栄養分が豊富であり、稲作に非常に適している                      4. サンゴ礁が隆起してできたため、アルカリ性が非常に強い
- 問3 宮崎県の農業や地形的特徴に関する説明として、背景や現状を正しく述べたものはどれですか。 (2020年 滋賀公立入試 類似)
1. シラス台地が広がり水持ちが悪い土地を活かして、食用鶏などの畜産業や、温暖な気候を利用した茶の栽培が盛んに行われている。                      2. 夏の冷涼な気候を活かしたキャベツやレタスなどの高原野菜の栽培が中心であり、畜産業は小規模に留まっている。                      3. 広大な平野部を利用した稲作の単作地帯であり、米の生産量が県内農業産出額の大部分を占めている。                      4. リアス海岸の入り江を利用した真珠やカキの養殖が産業の柱であり、内陸部の畜産業は県北の一部に限られている。
- 問4 沖縄県などが含まれる南西諸島の伝統的な家屋には、敷地の周囲に石垣をめぐらせたり、屋根瓦の継ぎ目を白い漆喰（しっくい）で固めたりする工夫が見られます。このような工夫がなされている理由として、地域の自然環境をふまえて説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2020年 和歌山公立入試 類似)
1. 冬に吹きつける冷たい北西の季節風による室温の低下を防ぐため                      2. 台風の通り道にあたるため、激しい強風によって家屋や屋根瓦が飛ばされるのを防ぐため                      3. 夏の日差しが非常に強いいため、石垣によって日陰を作り、室内の温度上昇を抑えるため                      4. 火山活動が活発な地域であり、降灰による屋根の崩落や生活への影響を防ぐため
- 問5 福岡県の北九州市に関して、かつて官営八幡製鉄所が建設され重化学工業が発展したが、現在ではその産業構造に変化が見られる。この地域の現在の特徴的な取り組みとして最も適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
1. 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成                      2. 伝統的な繊維産業を中心とした地場産業の振興                      3. 広大な平野を利用した大規模な稲作と野菜の抑制栽培                      4. 周辺のリアス海岸を生かした真珠や魚介類の養殖
- 問6 北九州工業地帯は、明治時代に官営八幡製鉄所が建設されて以降、日本の重工業を支えてきました。この地域の産業構造の変遷と現状について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 豊富な石炭資源を背景に、現在も鉄鋼業を中心とした金属工業の割合が製造品出荷額の過半数を占めている。                      2. 近年は自動車工場などの進出が進み、金属工業に代わって機械工業の割合が最も高くなっている。                      3. 瀬戸内工業地域と同様に、大規模な石油化学コンビナートが形成され、化学工業が主要な産業となっている。                      4. 沿岸部の埋め立て地に大規模な製粉・製糖工場が集まり、食料品工業が産業の柱へと成長した。
- 問7 鹿児島県の大隅半島付近に広く分布する、火山活動による噴出物が積み重なってできた台地について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 灰白色の土に覆われており、水はけがよいため畑作や畜産が盛んに行われている。                      2. 山地が沈降してできた複雑な海岸線を持ち、真珠やカキの養殖が盛んに行われている。                      3. 火山の噴火によって形成された大規模なくぼ地であり、その内部は広大な水田地帯となっている。                      4. 川の流れによって運ばれた土砂が河口付近に堆積してできた、平坦で低く湿った土地である。
- 問8 日本の諸地域の統計において、海岸線の延長が2665kmと非常に長く、かつ隣接する府県の数が「1」となっている県について述べた文として、地理的な背景を踏まえた正しいものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 屋久島や奄美群島などの多くの離島を抱えているため、海岸線が長くなっている。                      2. リアス海岸が発達しているため、隣接する県の数が極端に少なくなっている。                      3. 県全体が広大な平野で構成されており、海に面した部分が多いためである。                      4. 九州地方の中央部に位置し、周囲を海に囲まれた内陸県のような性質を持つためである。
- 問9 日本の品目別の食料自給率と小麦生産の実態について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 米の自給率は100%に近い水準を維持しているのに対し、小麦の自給率は10%から20%の間と低く、国内では北海道のほか、九州地方の福岡県や佐賀県などが主要な産地となっている。                      2. 小麦は米と同様に自給率が非常に高く、国内の需要をほぼ賄うことができているため、九州地方の全県が収穫量で全国トップ10に入っている。                      3. 近年、米の自給率は小麦と同程度の10%から20%まで急落しているが、それを補うために福岡県や熊本県といった九州地方での小麦増産が進められている。                      4. 日本の小麦自給率は極めて低いため、国内での生産は北海道のみに限定されており、九州地方などの他の地域ではほとんど生産されていない。
- 問10 熊本県に位置する阿蘇山では、大規模な噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して「カルデラ」と呼ばれる地形が作られました。この地形の利用や特徴について説明したものととして最も適切なものを選びなさい。 (2016年 三重公立入試 類似)
1. カルデラ内には広大な草原が広がり、牛や馬の放牧が行われている。                      2. カルデラの急斜面を利用して、大規模な稲作や果樹園が展開されている。                      3. カルデラの底部には常に水が溜まっており、巨大な湖としてのみ利用されている。                      4. カルデラの周囲は火山灰が堆積したシラス台地となっており、サツマイモ栽培が盛んである。
- 問11 九州地方南部に位置する宮崎県の農業の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。農産物産出額の内訳や気候条件に着目して答えなさい。 (2023年 長崎公立入試 類似)
1. 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。                      2. 広大な平野を活用した稲作が中心であり、農産物産出額の大部分を「米」が占めている。                      3. 冷涼な気候を利用した「抑制栽培」が盛んで、夏から秋にかけてキャベツやレタスを都市部へ出荷している。                      4. 瀬戸内の温暖な気候を活かし、ブドウやモモなどの「果樹」の産出額が全国でもトップクラスである。
- 問12 沖縄県の人口動態を示した統計において、出生率が11.6、死亡率が8.1となっており、出生率が死亡率を大きく上回るデータが示されています。このような数値の背景にある、沖縄県の人口増加の主な要因を説明したものととして適切なものはどれですか。 (2018年 三重公立入試 類似)
1. 出生率が全国的に見ても高く、死亡率を上回る自然的増加が続いているため                      2. 他県から移住してくる高齢者が多いため、死亡率が全国で最も低くなっているため                      3. 観光産業の発展により、県外からの労働者が転入し続ける社会的増加が主な要因であるため                      4. 若年層の他県への流出が止まり、合計特殊出生率が急激に低下したため